

[証券コード：4243]

プラスチックの新しい価値を創造する

PLASTIC NEW VALUE.

with NIX



NIX,INC.

2022年9月期（第92期）

報告資料

CONTENTS

1. 株式会社ニックス 会社概要
2. 2022年9月期 決算総括
3. トピックス
4. 中期展望
5. 2023年9月期 重点方針および業績予想

1. 株式会社ニックス 会社概要

1. 株式会社ニックス 会社概要



商号 株式会社ニックス
所在地 神奈川県横浜市
設立 1953年4月11日
資本金 4億 6,813万円
代表者 代表取締役社長
青木 一英

※詳細は当社ウェブサイト

<https://nix.co.jp>

をご覧ください。

工業用プラスチック精密部品



工業用プラスチック機構部品



NIXAM® 応用部品



基板実装支援製品



1. 株式会社ニックス 会社概要（信念）

私たちニックスの強みは、
お客様ニーズを理想のカタチにする価値創造力です。

「Nothing to Something（無から有を生み出す創造力）」の信念のもと、
素材開発力や設計開発力、量産技術によって
最適なソリューションをご提供いたします。



1. 株式会社ニックス 会社概要（事業の特徴）

単なるモノづくりではないNIXの製品開発

基本となる信念と各Core Competence等の掛け算により、想像を超える高い付加価値を実現することができます。

信念：Nothing to Something（無から有を生み出す創造力）

×

Core Competence：MATERIAL×DESIGN

製品群

事務機（プリンター）、映像機器（プロジェクター）、
家電（液晶、PDPTV）
ファスナー、軸受け、高さ調整アジャスター

自動車、産業機器、アミューズメント、電設資材
ファスナー、車輛用特殊部品

環境衛生
防虫忌避部材（ARINIX®）

アパレル、住宅設備（給湯器、ガス器具）
マックスインジョイント、ガスレンジ用操作ユニット、フロントアジャスター

生産設備、自動車、通信機器
マガジンラック（Nikko-Rack™）、塵埃除去装置、静電気対策ラベル



ご採用頂いている主なエンドユーザー様 (敬称略、順不同)

RICOH Canon FUJIFILM EPSON CASIO 

Panasonic SONY  brother  KONICA MINOLTA

HITACHI TOSHIBA  TOYOTA DENSO

NISSAN HONDA TESLA AISIN  BOSCH

 TOKYO GAS  大阪ガス Rinnai

Paloma  DAIKIN LIXIL 

  Coca-Cola SECOM  イカリ消毒株式会社  LG

TEL Nidec OKI muRata SEGASammy TAITO®

2. 2022年9月期 決算総括

決算概況 (連結)

(単位：百万円)

	2021年度 (第91期)	2022年度 (第92期)	実績の増減	増減率
売上高	4,068	4,465	397	9.7%
営業利益	188	200	12	6.6%
経常利益	228	258	30	13.1%
当期純利益	197	214	17	8.8%

【2022年度 (第92期) の 事業環境】

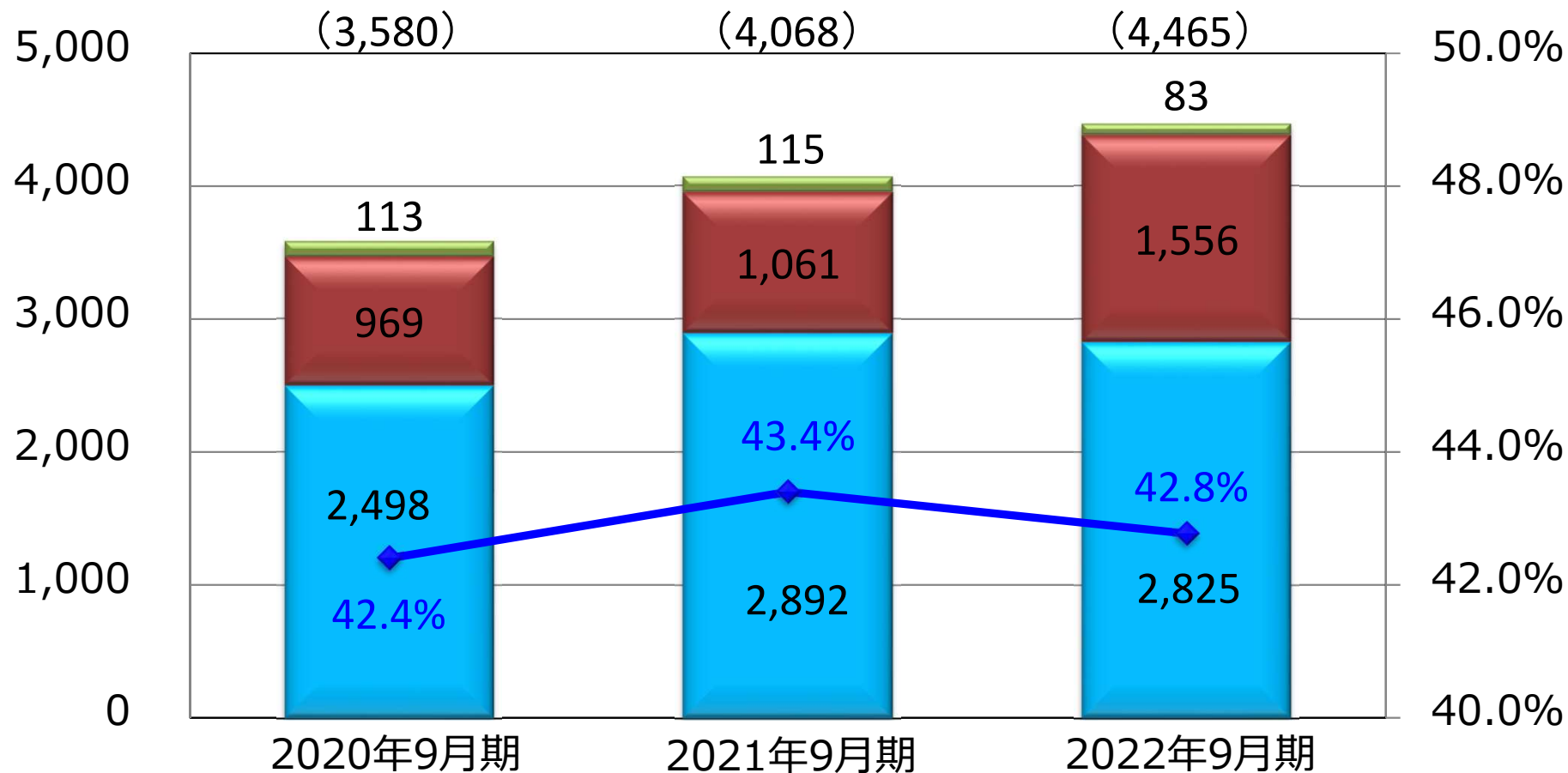
- ・ 新型コロナウイルス感染症の影響が改善傾向にシフト
- ・ ロシアによるウクライナ侵攻勃発と世界経済の突発的混乱

【2022年度 (第92期) の 業績背景】

- ・ ウクライナ侵攻以降の記録的な円安による売上の増加
- ・ エネルギー価格や材料費の高騰による経費の大幅増大
- ・ 新規事業への本格的な投資開始

製品別 売上高構成 (連結)

単位：百万円



■ 工業用プラスチック

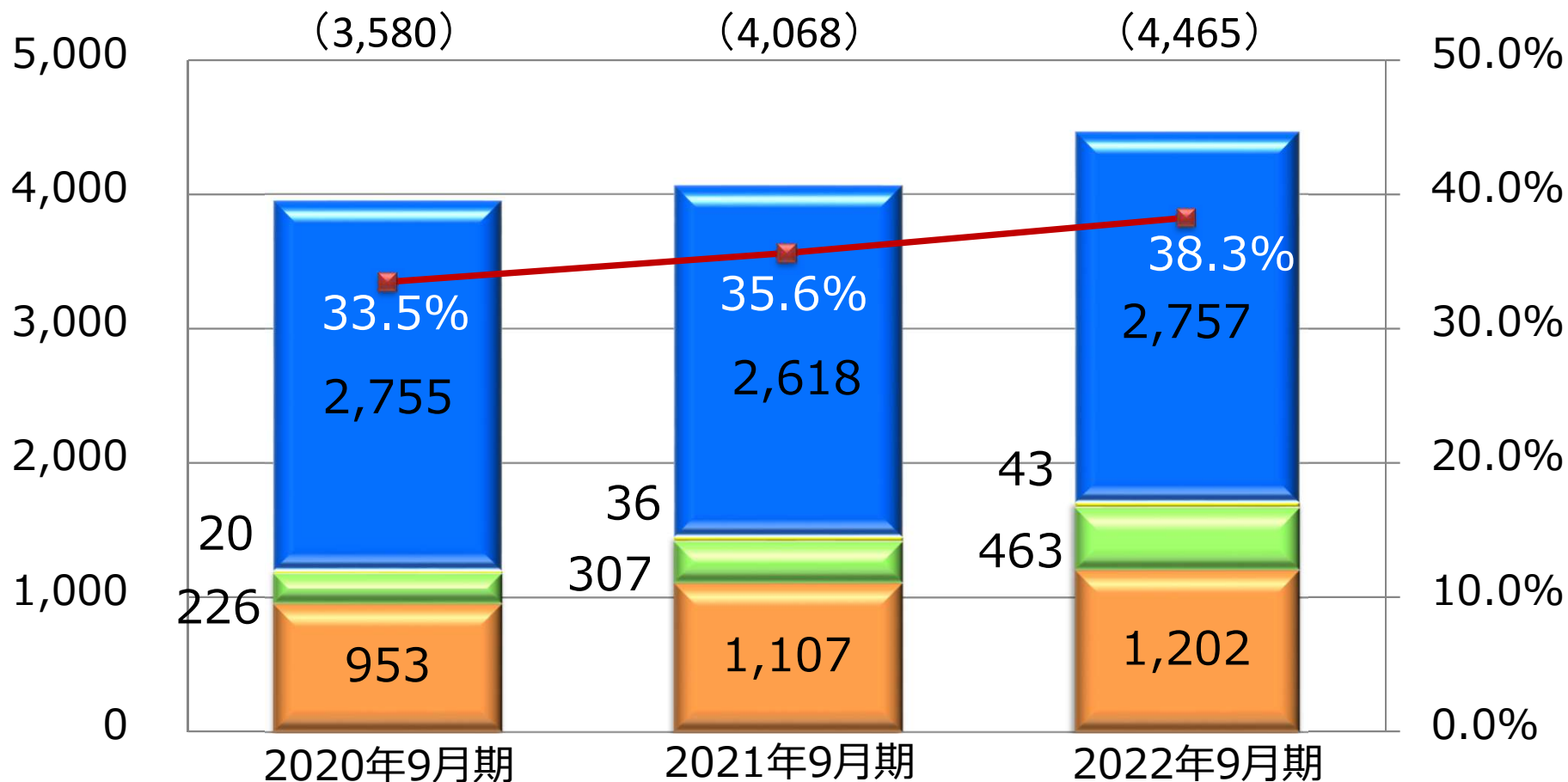
■ 生産設備治具

■ その他

◆ 売上総利益率

地域別 売上高推移 (連結)

単位：百万円



■ アジア
 ■ 北米
 ■ その他
 ■ 国内
 ■ 海外売上高比率

資産概況（連結）

	2021年9月期	2022年9月期
総資産 (百万円)	5,732	5,928
純資産 (百万円)	3,701	4,018
自己資本比率	64.6%	67.8%
1株当り純資産 (円)	1593.43	1729.90

3. トピックス

(ご紹介) NIXの生産技術 自動化ライン

お客様のご依頼の中には高い技術が必要になる場合があります。
生産自動化は、クリーン成形や品質安定性などの面で有利です。

成形

取り出し

検査

カット

袋詰め



NIXでは、製品開発だけでなく、技術の研鑽なども積極的に行い、
市場ニーズの変化に柔軟に対応することを心がけています。

サステナビリティ経営を拡大してまいります

当社グループでは、
「2050年までに温室効果ガスの排出を全体としてゼロにする、カーボン
ニュートラルを目指す」
という宣言に賛同し、温室効果ガスの排出を抑制するための取り組みを進
めています。

神奈川県第3回5年公募公債(グリーンボンド)に
投資いたしました。
(2022年10月20日)

グリーンボンドは、企業や地方公共団体等が、
環境改善効果のある事業や環境保全のための
事業等の資金調達を目的として発行する債券です



令和4年10月20日
株式会社ニックス

神奈川県グリーンボンドへの投資について

株式会社ニックス(以下「当社」という)は、このたび、神奈川県が発行するグリーンボ
ンド(神奈川県第3回5年公募公債(グリーンボンド)、以下「本債券」という)に投資したこ
とをお知らせします。

グリーンボンドは、企業や地方公共団体等が、環境改善効果のある事業や環境保全のため
の事業等(いわゆるグリーンプロジェクト)に要する資金を調達するために発行する債券で
す。令和2年9月、神奈川県はグリーンボンドを発行するための枠組みである「神奈川県グ
リーンボンドフレームワーク」を策定し、国際資本市場協会(International Capital Market
Association: ICMA)が定義する「グリーンボンド原則」および「環境省グリーンボンドガイ
ドライン」への適合性や、対象事業がグリーンボンド原則のカテゴリ「気候変動への適応」
に該当する旨を外部評価機関からセカンド・パーティー・オピニオンを取得しています(セ
カンド・パーティー・オピニオン発行者:株式会社格付投資情報センター(R&I))。

本債券の調達資金は、「神奈川県水防災戦略」における河川・海岸・砂防に関する新たな事
業資金として充当されます。同県は平成30年6月に、内閣府の「SDGs 未来都市」及び「自治
体 SDGs モデル事業」の両方に選定されています。また、令和元年度に発生した台風15号や
19号などを受けて、「誰一人取り残さない」というSDGsの理念を踏まえた「かながわ気候非
常事態宣言」を宣言しており、気候変動によって発生する水害への具体的な適応策として「神
奈川県水防災戦略」を位置付けています。

引き続き、当社は、持続可能な社会の実現に貢献できるよう、本債券投資をはじめとした
ESG領域における活動を一層推進してまいります。

以上

4. 中期展望

中期 展望

(1) 中期重点方針

- ・ 脱炭素社会、カーボンニュートラルへの取り組み
- ・ 収益化までのビジネスプロセスを早める（全社一体感の強化）
- ・ DX推進による企業変革
- ・ 新市場、新分野で事業を確立する

(2) 2025年度目標

- ・ 連結営業利益率：15%
※利益獲得&費用削減による生産性改善で目標達成を目指す

(3) 課題

- ・ 中長期での成長実現に向けた新たな柱の創出
- ・ 高付加価値製品の開発や生産性向上など総合的な利益率改善
- ・ 海外拠点との更なる連携強化

5. 2023年9月期

重点方針および業績予想

2023年9月期（第93期） 重点方針

▶パラダイムシフトへの対応

世の中にもたらされた劇的な変化を認識し、企業運営、ビジネスの進め方、個の考え方や発想を変化させていく。また、変化の中からビジネスチャンスをつかむ。

▶「創る」「作る」「売る」サイクルを早める

開発・生産・販売サイクルのスピードアップを実現することで競合への競争優位性を高め、収益化までのビジネスプロセスを早める。

▶ビジネスモデルの刷新

顧客や社会のニーズを起点に、データやデジタル技術を駆使してビジネスに関わるすべての事象に変革をもたらす。

2023年度（第93期）業績予想（連結）

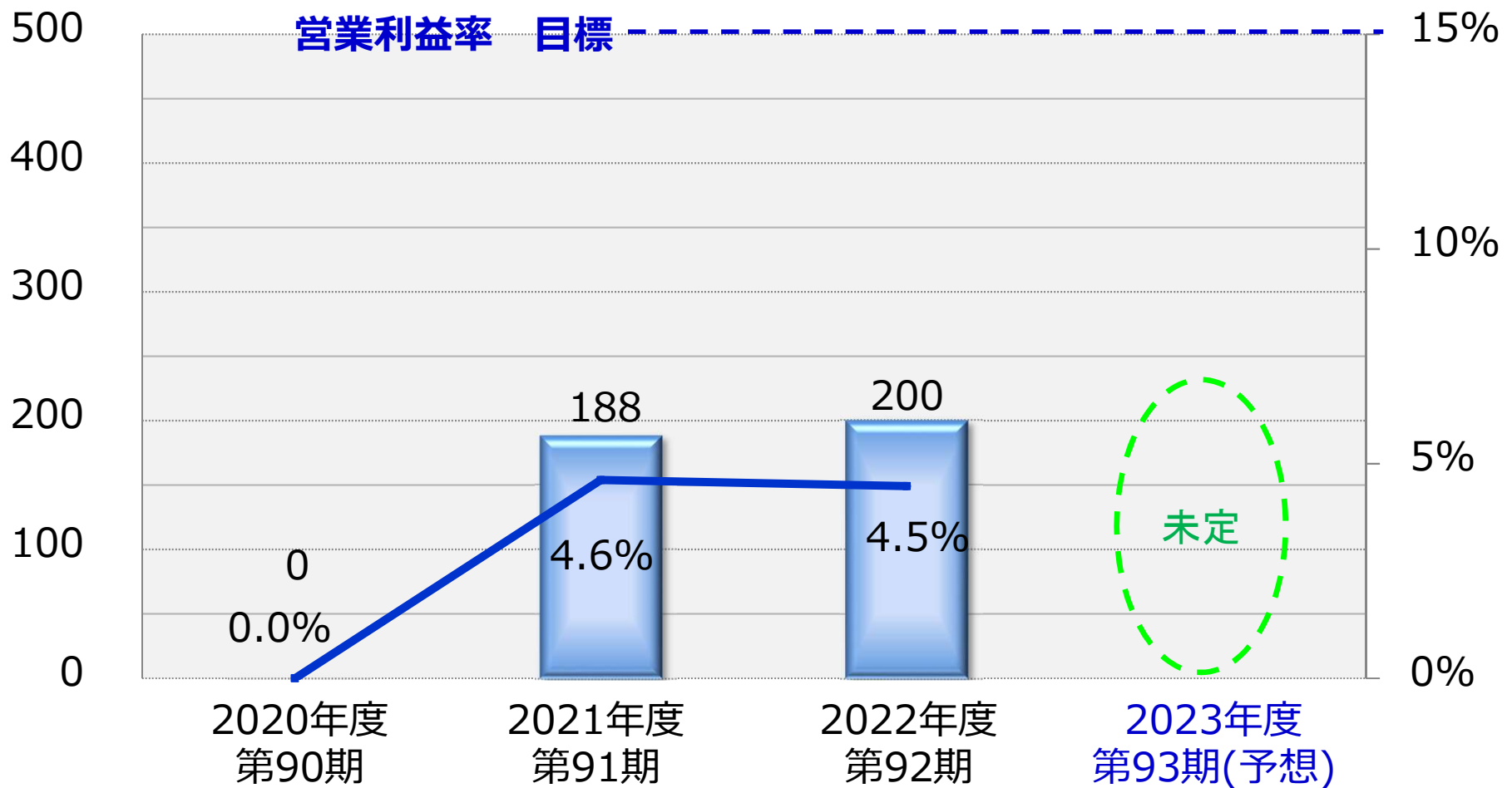
単位:百万円

	2022年度 (第92期)	2023年度 (第93期)
売上高	4,465	未定
営業利益	200	未定
経常利益	258	未定
当期純利益	214	未定

- ▶ 2023業績予想を未定としている理由（算定根拠が不透明な部分）
 - ・ 記録的な円安、エネルギー価格、物価高騰など不安定な経済情勢

(連結) 営業利益率 推移

単位:百万円



▶ 2023業績予想を未定としている理由 (算定根拠が不透明な部分)

- ・ 記録的な円安、エネルギー価格、物価高騰など不安定な経済情勢

今後ともより一層のご指導、ご鞭撻を賜りますよう、
よろしくお願いいたします



NIX, INC.

本資料では、当社および関係会社の将来についての計画、戦略、業績に関する予想および見通しの記述が含まれています。これらの内容は当社が現時点で把握可能な情報から判断した仮定および所信に基づく見込みです。今後の様々な環境変化によるリスクや不確実性を含んでおり、実際の見込みとは異なる可能性があります。

また、本資料は投資判断の参考情報のご提供を目的としており、投資勧誘を目的としたものではありません。



PLASTIC NEW VALUE
with NIX!